# 対馬産ミスジチョウとスジグロシロチョウ

高 橋 昭
(474) 愛知県大府市桃山町四丁目126番地

# *Neptis philyra* and *Pieris melete* from the Tsushima Islands (Lepidoptera: Nymphalidae & Pieridae)

AKIRA TAKAHASHI

対馬は朝鮮半島と九州本島との間に位置し，生物地理学上興味深い問題を多くもった離島である．対馬下島（長崎県上県郡，435km²）と上島（長崎県下県郡，247km²）およびその属島とからなり，上島と下島を合わせると682km²に達し，南千島を除けば，沖縄本島，佐渡島，奄美大島に次ぐ本邦第4位の面積をもっている．島全体が隆起準平原で矢立山649mを最高峰とする山頂部は比較的平坦であるが，山腹は険しく，谷が発達し，島全体森林におおわれて耕作地は乏しく，従って蝶相も離島としては豊富で変化に富んでいる．

対馬の蝶には，ツシマウラボシシジミが特産種として有名であるほか，ウラナミジャノメを始めとして特異な亜種や亜種化が進んでいる種がある．また，日本には本島のみ土着が知られるタイワンモンシロチョウを産し，*Pieris* 属の分布や生態においても興味深い土地である．

筆者は，1973年に対馬から2頭目のミスジチョウの個体を，また11頭目と思われるスジグロシロチョウを採集しているので，ここに報告する．

## 1. *Neptis philyra* ミスジチョウ

ミスジチョウは Ussuri—Amur 地方・中国大陸・台湾・朝鮮半島および日本に分布し，日本では北海道・本州・四国・九州と，離島として佐渡島と対馬から記録がある．対馬では，1958年5月31日に厳原町において吉田憲司により1♀が採集されているのみで（山口・浦田，1960），その後の採集報告はない． この個体は写真の発表がなく，斑紋その他に関する記載もない．

筆者は，1973年6月25日に上県郡上県町佐須奈において，カエデ科の1種に飛来した1♀を採集し，またこのカエデから5卵を採集することができた．卵は自宅へもち帰り，8月末まで飼育し，中齢幼虫にまで成長したが，9月に渡欧したため，死亡させてしまった．

採集した1♀は，前翅長36mmでほぼ正常の大きさである（中部地方産の野外採集個体の所蔵標本では30～38mm，平均35～36mm）．

本個体の特徴は白紋が前後翅，また表面裏面ともよく発達していることである．前翅中室内の白斑の幅の最も広い部は，表面では中室の最大幅の約2/5，裏面では約3/5に達する．後翅の白条も全般に幅が広く，これを表面第2室の基部寄りの白斑でみると，この紋の翅脈に沿う長さは，翅脈と垂直方向の長さのほぼ1.7で縦に長い．この紋の縦横比は本州中部産では 0.4～1.2 位で，正方形に近いか，横に長い長方形をしている．また，後翅第2室の亜外縁の紋についてみると，翅脈に沿う縦の長さと，翅脈に垂直の横の長さとの比はほぼ1.0で，正方形に近い．本州中部産では 0.4～0.7 で，明らかに横に長い．

後翅裏面の地色は暗色調を呈し，本州中部産の最も暗色の個体にほぼ等しく，このため幅の広い白帯が暗色調の地色に対し，強いコントラストをなしている．

ミスジチョウの原記載は Ussuri—Amur 地域産に対してなされたものである．これに対し，1878年 Butler は石川千代松が採集し描いた日本産（詳細な採集地の記載はないが関東地方，とくに東京周辺産と推定される）（江崎，1955）に対し，*N. alwina* に近い新種として *N. excellens* と命名した．この原著には図が添えられていないが，*N. excellens* はその後 *N. philyra* の亜種として扱われ，今日に至っている．Ssp. *philyra* と ssp. *excellens* との差異については Butler の原記載の文章のみからでは判読できないが，図鑑や論文の写真や図でみると両者間には大差がないように思われる．ミスジチョウは朝鮮半島にも分布し，ssp. *philyra* として扱われているが，これも日本産との間に差異は見出し難い．従って，ここに報告する対馬産の1♀個体は，日本産，朝鮮産のいずれと比較しても，白帯の広い特異な個体である．

## 2. *Pieris melete* スジグロシロチョウ

対馬の *P. melete* の記録は，1910年 Frubstorfer が♀の個体に基づいて "*Pieris melete juba*" の新亜種名をつけたのが最初であるが，これは現在では *P. canidia* タイワンモンシロチョウの同定の誤りとされ，同島産の亜種名 *P. canidia juba* として用いられている（白水，1952）．また，1932年 Dixey が報告した発香鱗の研究の中に対馬産の *P. melete* の個体が含まれているという（藤森，1962），が真偽のほどは不明である．

対馬からの *P. melete* の確実な最初の記録は1955年が最初と思われる（浦田明夫，1955）．その後今日まで，筆者が文献を調べた範囲内では計5♂♂5♀♀の個体が報告されている（Table 1）．
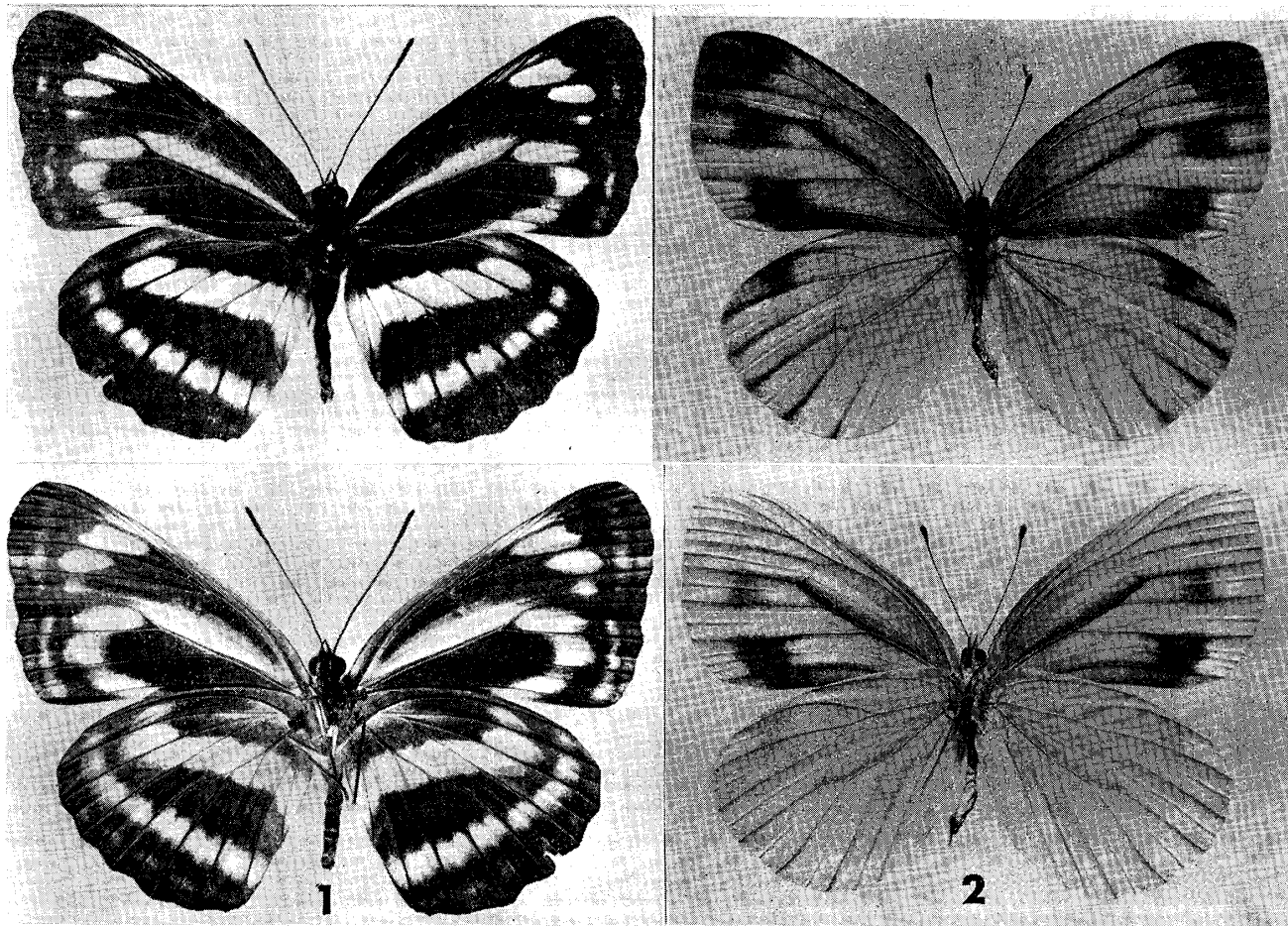
Fig. 1. *Neptis philyra*, ♀. 1973 June 25. Sasuna, Tsushima, Nagasaki Pref.
Fig. 2. *Pieris melete*, ♀. 1973 June 25. Sasuna, Ttushima, Nagasaki Pref.

Table 1. 対馬産 *P. melete* 採集報告個体一覧

| 個体 | 採集年月日 | 採集地 | 採集者 | 報告者 |
|---|---|---|---|---|
| 1♀ | 1954. VII (VIII?). 12 | 下県郡厳原町清水山 | | 浦田明夫 (1955, 1958, 1960a) |
| 1♂ | 1957 (1958 ?). VI. 10 | 下県郡厳原町田淵 | 植村芳布 | 浦田明夫 (1958, 1960a) |
| 1♂ | 1958. VI. 23 | 上県郡上対馬町大増 | 西村峰男 | 児玉保信 (1959) |
| 1♀ | 1970. VIII. 12 | 上県郡上県町佐須奈 | 宇野正紘 | 宇野正紘 (1973) |
| 1♀ | 1972. VII. 20 | 下県郡厳原町小茂田 | 邑田益朗 | 浦田明夫 (1974) |
| 1♀ | 1973. V. 5 | 下県郡厳原町 | | 杉憲 (1973) |
| 1♂ | V. 25 | 上県郡上県町鹿見 | 横山郁夫 | 浦田明夫 (1974) |
| 1♂ | VI(IV?). 10 | 上県郡上県町佐須奈 | 大熊純 | 大熊純 (1973) |
| 1♀ | VI. 25 | 上県郡上県町佐須奈 | 高橋昭 | 高橋昭 (1977) |
| 1♀ | VII. 27 | 下県郡厳原町 | | 杉憲 (1973) |
| 1♂ | VIII. 26 | 上県郡上対馬町舟志 | 江島正郎 | 江島・里山 (1974) |

筆者は，1973年6月25日に，上県郡上県町佐須奈において，*P. melete* 1♂を採集した．これは本島から11頭目の報告に当たる．

この個体は，写真にみられるように *P. melete* の特徴をもっており，同定上の問題はほとんどない．

近似種 *P. napi* は朝鮮半島に広く分布し，その南端まで分布が伸びており (Kim, 1976)，北九州地方にも *P. napi* は棲息している．また，本州で *P. napi* の好んで食草としている *Arabis* 属のヤマハタザオやハマハタザオ，あるいは *Rorippa* 属のイヌガラシ，ミチバタガラシが対馬に自生しているので（長崎県生物学会，1976)，今後同島の *P. napi* の産否については注目する必要がある．

種々御教示いただいた日浦勇，田中蕃，高橋真弓，浦田明夫の諸氏，また同行された滝田康一，浅井弘三の両氏に厚く御礼申し上げる．

本稿の要旨の一部は，日本鱗翅学会東海支部第27回例会（1976年8月29日，静岡市）において講演した．

## 文献

Butler, A. G. (1878) On some butterflies recently sent home from Japan by Mr. Montague Fenton. Cistula Entomol., 2 : 281—286.

Dixey, F. A. (1932) The plum-scales of the Pierinae. Trans. Entomol. Soc. Lond., 80 (1) : 57—75.

江崎悌三 (1955) 日本昆虫学史話(2). 昆虫，23 (4) : 182—188.

江島正郎・里山俊哉 (1974) 対馬で採集した蝶5種. 月刊むし，(41) : 15.

Fruhstorfer, H. (1910) Revision of the Pieridae of the Indo-Australian Region. Macrolepidoptera of the World, Vol. 9, Fritz Lehmann, Stuttgart, p. 119-190.

藤森信一 (1962) 日本産 *Pieris* 属数種の学名について. あげは，(10) : 19.

Kim, C.-W. (1976) Distribution Atlas of Insects of Korea. I. Lepidoptera. Korea University Press, Seoul.

長崎県生物学会（編）(1976) 対馬の生物. 長崎大学教養部生物学教室，長崎.

大熊 純 (1973) 対馬で採れたスジグロシロチョウ. 筑紫の昆虫，14 (2) : 38.

Shirôzu, T. (1952) New or little known butterflies from the northeastern Asia, with some synoymic notes, I. Sieboldia, 1 (1) : 11-37, pl. 4-14.

杉　憲 (1973) 対馬の蝶2種. Canidia, (2) : 1—2, pl. 1.

宇野正紘 (1973) 対馬島でスジグロシロチョウを採集. 昆虫と自然, 8 (12) : 3.

浦田明夫 (1955) 対馬産蝶類仮目録続報. こがねむし, 4 (4) : 8—9.

浦田明夫 (1958) 対馬産蝶類2種. 新昆虫, 11 (12) : 48—49.

浦田明夫 (1960a) 対馬の蝶(1). 新虫報, 1 (1) : 1—3.

浦田明夫 (1960b) 対馬の蝶類. 自刊, 50pp.

浦田明夫 (1974a) 対馬産蝶類数種の記録. 北九州の昆虫, 19 (3) : 75—76.

浦田明夫 (1974b) 対馬の昆虫2種. 昆虫と自然, 9 (14) : 4.

浦田明夫 (1977) 対馬の蝶類雑記(3). 北九州の昆虫, 23 (3) : 63—66.

山口鉄男・浦田明夫 (1965) 長崎県の蝶類. 長崎大学教養部紀要, 自然科学, 5 : 25—52, pl. 1—3.

## Summary

Tsushima, a group of rocky islands in Nagasaki prefecture, Japan, is situated in the strait separating the Korean Peninsula and Japan. It rouses our particular interest in the zoogeographical subject.

*Neptis philyra* (Nymphalidae) occurs in the Far East, especially in the districts surrounding the Japan Sea. A female was captured from Tsushima by the author. This is the second record from there. It is possible to distinguish it from ssp. *philyra* occurring in Korea and also from ssp. *excellens* in Japan main islands, because of the better developed white spots on both surfaces.

*Pieris melete* (Pieridae) is also distributed in the Far East. In 1910, Fruhstorfer described a new subspecies, ssp. *juba*, from Tsushima, but it is considered at present that he erroneously treated *P. canidia*, commonly found there, as *P. melete*. Since the first discovery of *P. melete* in 1954, only ten individuals have so far been reported. In this report, the eleventh example is recorded and all of the records hitherto reported are reviewed.